

土木・建築兩學會の總會

土木學會長に大河戸博士

建築學會長に佐野博士

土木學會總會

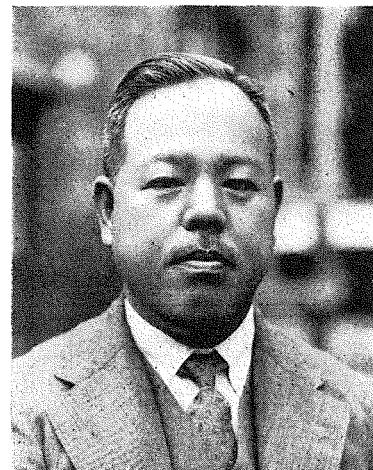
土木學會通常總會は2月15日午後5時、丸ノ内の鐵道協會大講堂に於て開催された。井上會長司會の下に先づ宮本武之輔氏事業報告をなし、次に森原俊一氏會計報告をなし、次に役員選舉の結果を次の如く發表して新役員當選者を紹介され、次いで昭和11年度土木賞牌贈呈優秀論文「連續拱橋の解法」著者たる九大教授工學博士三瀬幸三郎氏に対する土木賞牌贈呈式あり、三瀬氏缺席の爲、柴原書記長代りで之を受け、次に會長講演に移り井上秀二氏は「土木技術の眞相」と題して本誌別項掲載の如き、土木の眞使命に就て一種の哲學的論斷を與へられた。

昭和12年度役員當選者（投票人員800名）

會長	當選	大河戸 宗治	(750票)
副會長	同	新井 荣吉	(728票)
常議員	同	金子 源一郎	(740票)
同	同	森田 三郎	(726票)
同	同	柳木 寛之	(717票)
同	同	阿曾沼 均	(715票)
同	同	高橋 甚也	(707票)
同	同	浅間 逸雄	(706票)
同	同	中村 光四郎	(699票)
同	同	久保田 正雄	(690票)
同	同	河西 定雄	(682票)
同	同	海老季 美	(667票)
常議員補缺當選	小澤 久太郎	(676票)	
同	同	小宅 習吉	(661票)

總會終了後別室にて晩餐會を催すし前會長及多數の先輩新進等70餘名に達し近來の盛會を極めた。

尙ほ席上辰馬副會長は新舊會長及役員に對する送迎の辭を兼ねた、感謝の挨拶を述べられ、次いで井上秀二氏は退任の挨拶を述べられ、大河戸博士は新會長として謙遜なる就挨拶を述べられ、新井榮吉博士は新副會長として就任挨拶の中に土木技術家の水に對する哲學觀を述べられ、文化達に對する希望を



述べられた。最後に遠く山口縣の寓居から出席された原田貞介博士の發聲で土木學會の萬歳を三唱し、一同歡談裡に閉會したのは八時頃であつた。(寫真は新に副會長となられた工學博士新井榮吉氏)

建築學會總會

2月18日午後6時より鐵道協會講堂に於て開催せられたる建築學會總會は、會長内田祥三博士司會の下に十一年度事業報告及收支決算報告をなし、次いで十二年度豫算審議をなし、何れも原案を可決し、次に松井清足氏より建築學會五十年記念事業開催に關する希望事項等を可決し、次に本年度新役員改選の結果を次の如く發表された。特に曾て會長たりし佐野利器博士が本年再び會長に選ばれたるは注目すべきである。

會長	佐野 利器	同	岡田捷五郎
副會長	福田 重義	同	西村 好時
常議員	猪野 勇一	同	長谷川富二郎
同	飯高 達失	同	甚月 雅治
同	石井 桂	同	渡田 稔
同	上浪 朗	同	松井 興作
同	小野 薫		(以上)